

## H29年度 「CAN-DOリストの形での学習到達目標」

さいたま市立 大宮北高等学校

	話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
卒業時目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ることができる。英語を通じて情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりすることができる。事実や意見などを多様な観点から考察し論理の展開や表現を工夫しながら伝えることができる。			
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定のテーマについて聴衆が聞き取りやすいように発表することができる。</li> <li>内容が効果的に伝わるようにジェスチャーやアイコンタクトを適切に使って発表することができる。</li> <li>特定のテーマについてのディベートで自分の意見を述べることができる。</li> <li>自分の意見についての反論に対して意見を述べるすることができる。</li> </ul> (評価方法) ・プレゼンテーション ・ディベート	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習して知り得た情報や感想を英語で書くことができる。</li> <li>特定のテーマについてプレゼンテーションを行うための原稿を書くことができる。</li> <li>特定のテーマについて反対・賛成いずれの立場でも自分の意見を書くことができる。</li> <li>自分の意見に予測される反論への回答を書くことができる。</li> </ul> (評価方法) ・エッセイ ・定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や考えなどを聞いて理解することができる。</li> <li>特定のテーマについての発表を聞き理解することができる。</li> <li>特定のテーマについてのディベートで相手の発言を聞き理解することができる。</li> <li>特定のテーマについてのディベートを聞き、勝ち負けを判断することができる。</li> </ul> (評価方法) ・リスニングテスト ・定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や考えについて、文章の流れや構成を考えながら、概要や要点を捉えることができる。</li> <li>情報や考えについて多面的に理解する視点と視座を持ち内容を的確に理解することができる。</li> <li>特定のテーマに沿った英文の資料を読み、関連する情報を集めることができる。</li> </ul> (評価方法) ・小テスト ・定期考査
終了時目標	より広い話題について聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。事実や意見などを多角的な観点から考察し論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えることができる。			
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた話題について即興で話すことができる。</li> <li>伝えたい内容を整理して論理的に話すことができる。</li> <li>ペア・ワークやグループワークにおいて積極的に自分の意見を述べるができる。</li> <li>ディスカッションにおいて自分の考えを伝えることができる。</li> </ul> (評価方法) ・レシテーション ・スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理の展開や表現の方法を工夫しながら文章を書くことができる。</li> <li>主題を決め、様々な種類の文章を書くことができる。</li> <li>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめることができる。</li> </ul> (評価方法) ・エッセイ ・定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表されたものを聞いて理解することができる。</li> <li>より幅広い話題について聞いて理解することができる。</li> <li>ペア・ワークやグループワークにおいて相手の意見を聞き取ることができる。</li> <li>ディスカッションにおいて相手の意見を聞き取ることができる。</li> </ul> (評価方法) ・リスニングテスト ・定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報や考えなどを的確に理解し、概要や要点を捉えることができる。</li> <li>より広い話題について読んだことを理解することができる。</li> </ul> (評価方法) ・小テスト ・定期考査
終了時目標	情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりすることができる。事実や意見などを多角的な観点から考察し論理の展開を工夫しながら伝えることができる。			
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムや抑揚などの英語の音声的な特徴に注意し相手に伝わるように話すことができる。</li> <li>与えられた話題について即興で話すことができる。</li> <li>聴き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。</li> </ul> (評価方法) ・レシテーション ・スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手や目的に応じて簡潔に書く事ができる。</li> <li>高校生活の日常に密着したさまざまなトピックについて5～6文書くことができる。</li> <li>社会生活の身近なトピックについて自分の考えなどを100語程度のひとまとまりの文を書くことができる。</li> </ul> (評価方法) ・エッセイ ・定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムや抑揚などの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。</li> <li>事物に関する紹介等を聞いて情報や考えなどを理解したり、概要や要点をらせることができる。</li> </ul> (評価方法) ・リスニングテスト ・定期考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。</li> <li>説明や物語などを聞き手に伝わるように音読することができる。</li> </ul> (評価方法) ・小テスト ・定期考査